

開催趣旨と今後の進め方について

首都圏広域降灰対策に関するガイドライン（仮称）の位置づけ

首都圏における広域降灰対策検討会
第3回資料（令和6年10月22日）

基本的な考え方

大規模噴火時の広域降灰対策について -首都圏における降灰の影響と対策-
～富士山噴火をモデルケースに～（報告）（令和2年4月）
（中央防災会議 防災対策実行会議 大規模噴火時の広域降灰対策検討ワーキンググループ）

- ・大規模噴火時の降灰対策の検討を行う際の前提となる、降灰分布とそれによる交通機関やライフライン等への影響等
- ・住民等の行動の基本的な考え方（降灰により家屋倒壊の可能性がある範囲、その他の降灰地域）
- ・応急対策を中心とした検討に当たっての留意事項（平常時、火山活動活発時、大規模噴火発生後）

ワーキンググループ報告に基づき、富士山噴火を想定した広域降灰対策について検討

対策の検討

今回取りまとめる予定：「首都圏広域降灰対策に関するガイドライン」（仮称）
「首都圏における広域降灰対策検討会」（令和6年7月～）

- ・降灰の状況等に応じた広域降灰対策の基本方針
- ・関係機関が連携し、具体の対策の検討を進めるに当たっての考え方や留意すべき事項

具体の地域における検討

- ・広域にまたがる対策の基本となるべき事項を、内閣府と関係機関で連携して検討
- ・地方公共団体を中心に、各地域の実情に応じた具体の対策（拠点位置・対応手段等）の検討

各分野における具体の対策

- ・実施すべき対策を防災基本計画、地域防災計画、防災業務計画等に反映
- ・関係機関・各事業者等の実施主体において具体の対策を進める

残る課題についての検討

- ・中長期的に検討が必要な課題について内閣府を中心に引き続き検討

※検討が進んだ内容から、随時計画に反映・対策を実施

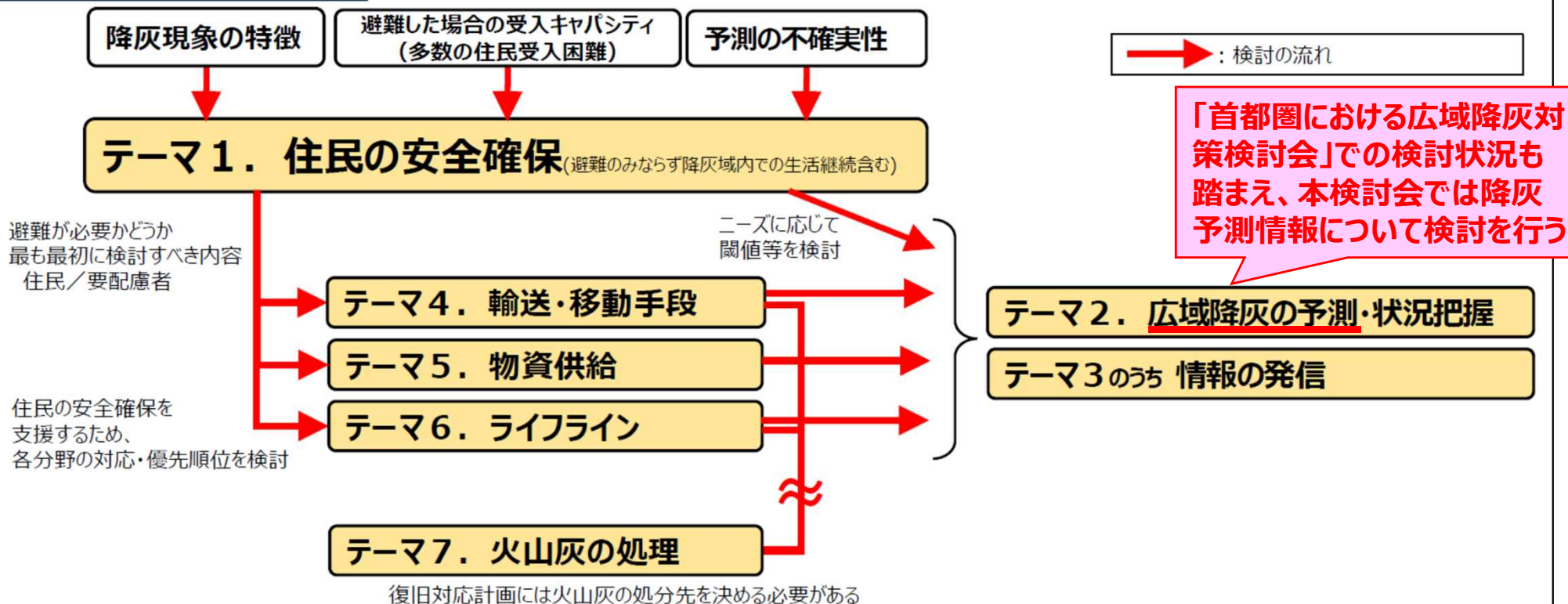
※「首都圏広域降灰対策に関するガイドライン（仮称）」は、広域的な検討の進捗等を踏まえ、適宜改定を行う。

7つのテーマの関連と検討の流れ（再整理）

首都圏における広域降灰対策検討会
第3回資料（令和6年10月22日）に一部加筆

- 第1回・第2回検討会では、7つのテーマを個別に検討したが、各テーマは相互に関係することから、各テーマの関係について、下図の通り整理した。
- 以降のスライドで、各詳細を示す。（「テーマ7.火山灰の処理」については、次回検討会以降で検討を行う。）

発災時の対応



「首都圏における広域降灰対策検討会」での検討状況も踏まえ、本検討会では降灰予測情報について検討を行う

平時からの対応

テーマ1・5のうち 備蓄

テーマ4～7 各分野における想定・事前準備検討

テーマ3のうち 周知啓発

大規模噴火発生時の広域降灰対策について、令和2年の中央防災会議のWG報告書※¹を踏まえ、今年度、内閣府では「首都圏における広域降灰対策検討会」を開催しているところ。関係省庁や地方公共団体等の広域降灰対策に係る考え方や留意点等の検討が進められており、トリガー情報※²及び見通し情報※³の必要性とともに、同情報の方向性が示された。

※¹ 中央防災会議 大規模噴火時の広域降灰対策検討WG 「―首都圏における降灰の影響と対策―～富士山噴火をモデルケースに～（報告）」（R2.4.7）

※² 大規模噴火時の降灰への対応のトリガーとなる大規模噴火発生の情報

※³ 大規模噴火時、噴火の推移に応じた降灰の見通し情報

＜参考＞「大規模噴火時の広域降灰対策について ―首都圏における降灰の影響と対策― ～富士山噴火をモデルケースに～ （報告）」抜粋
【噴火の推移、降灰の推移の情報提供について】

- ・大規模噴火時の降灰への対応のトリガーとなる大規模噴火発生の情報及び情報を発表する体制等の検討が必要である。
- ・大規模噴火時には、噴火の推移に応じた降灰の見通しを、予測の限界・特性と合わせて、逐次提供する方法の検討が必要である。



【本検討会で行う検討】

現在気象庁で発表している降灰予報は、1mm以上の降灰量を同一のカテゴリーで扱うなど、大規模噴火時の広域降灰を想定した情報体系とはなっていない。内閣府の検討会の内容を具体化するために、「広域降灰対策に資する降灰予測情報に関する検討会」を気象庁で開催し、**全国の火山を対象に、大規模噴火時の広域降灰に対応した新たな降灰予測情報についての検討**を行う。

なお、降灰の広域的な観測状況の収集・把握については、内閣府の検討会にて検討されているため、本検討会の論点とはしない。

第1回（本日）

- ✓ 開催趣旨と今後の進め方
- ✓ 国・地方公共団体における広域降灰対策の検討状況
- ✓ 降灰予報と降灰予測技術の現状
- ✓ 本検討会における課題と論点
 - ◆ 降灰の厚さに応じた呼びかけ内容と警報化の要否
 - ◆ 大規模噴火時の降灰への対応のトリガーとなる大規模噴火発生情報のあり方
 - ◆ 大規模噴火発生時の噴火推移に応じた降灰の見通しの情報のあり方

第2回（2月中旬を想定）

- ✓ 第1回の議論を踏まえた検討
- ✓ 大規模噴火時の広域降灰に資する降灰予測情報の案
- ✓ 噴火前に提供する降灰に関する情報のあり方の検討
- ✓ 報告書の骨子案の確認

第3回（3月下旬を想定）

- ✓ 第2回の議論を踏まえた検討
- ✓ 報告書案の検討

報告書公表（4月以降を想定）